

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新定特別専修学校施設整備工事 付いたし、新校舎棟ほか建築主体その他工事	階数	地上4F
建設地	京都市伏見区深草鈴塚町13番地他	構造	RC造
用途地域	都市計画区域、第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	400 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	学校・集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2018年1月31日
敷地面積	8,373 m ²	作成者	株式会社内藤建築事務所 神先 誠司
建築面積	2,104 m ²	確認日	2018年1月31日
延床面積	6,813 m ²	確認者	株式会社内藤建築事務所 神先 誠司



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★★☆☆☆☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★★ B: ★★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	87%
③上記+②以外の	83%
④上記+	83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.2

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	シックビル対策、自然換気性能の高い居室環境など、利用者に配慮した設計を心がけている	その他 特になし
Q1 室内環境	内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用、他VOCも放散量の少ない建材を使用	Q3 室外環境 (敷地内) 地域産木材の使用、交流ホールの設置など、地域アメニティの高い生活環境を形成
LR1 エネルギー	太陽光パネルの設置による創エネ	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率=83%
Q2 サービス性能	将来の用途変更可能性を考慮した空間形状・自由さ	
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材の採用	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される